



令和8年度の部活動

昨年の12月、文部科学省より「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」が発表されました。【インターネットにもアップされています】

要旨は以下の通りになります。

- 1 令和8年度～令和13年度までの6年間で「改革実行期間」とする
- 2 休日の部活動については、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す
- 3 平日の部活動については、各種課題を解決しつつ、更なる改革を推進する

これを受けて、当校でも以下の対応をとります。【Q&A方式でまとめました】



Q 吉川中学校の部活動は、なくなるのですか？

A なくなりません。令和7年度と同様の部活動の設置と平日の活動を行います。ただし、路線バスの運行時刻(例年、年度末にダイヤ改正)にあわせ、活動時間が変更になる場合があります。決定次第、お知らせします。

Q 土・日・祝日の部活動は、今後どうなりますか？

A 土・日・祝日における、吉川中部活動としての練習や大会の参加などはしません。この方針は、上越市内すべての中学校に適用されます。ただし例外もあります。全国大会に通ずる中体連大会や吹奏楽コンクールなど公式大会においては、会場確保または民間の審判及び審査員確保のため、休日開催となることもあります。

Q 中体連の大会や吹奏楽のコンクールは、今後どうなりますか？

A 当校に設置してある「ソフトテニス部」「剣道部」「特設陸上部」の中体連大会については、当校顧問の引率の下、参加します。吹奏楽の各種コンクールについても、当校顧問引率の下、参加します。

Q 吉川中の地域クラブの現状は、どのようになっていますか？

A 当校に設置されていないスポーツの地域クラブに所属し、活躍している生徒がいます。
【主なスポーツ】軟式野球、硬式野球、硬式テニス、バスケットボール、サッカー、ダンスなど
当校に設置されており、さらに地域クラブに所属している生徒もいます。

【主なスポーツ】ソフトテニス

当校では、重複した活動を認めています。例えば、吉川中ソフトテニスとソフトテニス地域クラブの両方に所属し、平日は学校で練習し、休日は地域クラブで練習しているケースです。ただし、大会時には「吉川中」「〇〇クラブ」のどちらかを選択しなければなりません。残念ながら、吉川区内(近隣も含めて)で、「剣道」「吹奏楽」「陸上競技」については、認定された地域クラブは開設されておりません。

Q 地域クラブのメリットとデメリットは何ですか？

A メリットは、①他校の生徒と交流できる ②豊富な練習量で、体力・技術が向上する などです。
デメリットは、①経費が保護者の負担(受益者負担の原則) ②お子さんの活動場所への送迎 などです。

Q 地域クラブは、どのようにして調べればよいのですか？

A どの種目に、どのような地域クラブがあるのかは、「上越市地域クラブ一覧」とネット検索すればわかります。上越市教育委員会の地域クラブ活動推進室がまとめているものです。ただし、地域クラブには上越市が策定した認定基準があります。この認定を受けず、硬式野球など、独自のリーグで活動しているスポーツもあります。いずれも、まずは見学・仮体験してから正式に入部することをお勧めします。

Q 部活動や地域クラブに入らなくてもよいのですか？

A その通りです。当校の部活動も、地域クラブも入部は任意です。

土・日・祝日は、地域クラブの活動を妨げることは、原則としてできません。よって、上越市内の多くの中学校では、従来、土・日に開催していた学校行事を平日開催に切り替えています。

当校も令和8年度より以下の学校行事を平日開催とさせていただきます。

体育祭 令和8年 5月28日(木) ※予備日 29日(金)

OKAMI 遠足 令和8年 9月18日(金) ※予備日 25日(金)

音楽祭 令和8年10月23日(金)

当校の教育活動は、多くの地域・保護者の皆様から支えられております。しかし、全国的な少子化のため、中学校部活動の大幅な改革、それに伴う学校行事の制限が課されてきております。この現状をなにとぞ御理解いただき、来年度も変わらぬ御支援を賜ることを切にお願い申し上げます。

1年生 スキー授業 ~吹雪の中、頑張りました~



1月22日(木)、前日の大雪予報で実施が危ぶまれましたが、無事にキューピットバレイスキー場にて、今年度のスキー授業が行われました。山の天気なので、途中、日が差した一瞬もあったようですが、ほとんどの時間、吹雪の中での滑走だったようです。そんな荒天にも負けず、午後のスタートは参加者全員が第1クワッドに乗ったと聞き、この一年の成長を感じました。学校に戻ったときの子どもたちの表情は達成感でいっぱい!「疲れたけど楽しかった」という感想が聞かれ、出迎えた私たちも嬉しくなりました。

2年生

学校保健委員会 ~健康な生活について考えよう~

1月15日(木)、吉川小学校5年生をお迎えし、小中合同学校保健委員会が開かれました。今年度は、生活のリズムを整えることの大切さをみんなで考えました。家庭学習の時間、メディアの時間、習い事の時間、就寝の時間…学校外の時間をどのように使うかを考えたり、それらを友達と比べたりしながら、さまざまな気づきがあったようです。「小学生の時は、毎日宿題やってたのにな…」という中学生のつぶやきがちょっと切なくはありましたが、それも心の成長の一つかもしれません…



3年生

薬物乱用防止教室 ～ダメ、絶対！！～



1月30日(金)、上越警察署 少年サポートセンターの方を講師に迎え、3年生を対象に「薬物乱用防止教室」が行われました。身近に潜む危険なドラッグ。たった一回でも手を染めれば、もう元の自分には戻れません。最近では、とてもかわいらしいパッケージ、ラムネのような色とりどりの錠剤等、若い世代の気を引くドラッグが多くあります。

誘惑に負けて安易に手を出すことなく、自分の身を自分で守る知識を身に付けていきたいものです。

1・2年生

防災講話 ～ハザードマップの確認を！～

1月27日(火)、避難訓練の一環として、柏崎原子力広報センターの皆様を迎え、原子力や放射線にかかわる防災講話を開催しました。実際に霧箱を使って放射線の跡を見たり、身の回りのものから出ている放射能物質の数値を測ったりしながら、原子力発電や放射線、原子力の平和利用等について理解を深めました。ここ吉川区は、柏崎刈羽原子力発電所から30km圏内にあり、一度事故が起きると「避難準備区域」(必要に応じて屋内退避)となります。いざという時に慌てずに行動できる準備をしておくことが大切です。一方で、放射能物質を恐れすぎて被爆者や被爆地域に住む方がつらい思いをする現実があります。知らず知らずの内に差別する側の人間にならないように、正しい知識を身に付けていきましょう。



【「上越市ハザードマップ」より】

「まずは屋内退避」が基本の行動です。

(*) 安定ヨウ素剤とは？
安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による甲状腺の内部被ばくを抑える効果のある薬品です。放射性ヨウ素が体内に大量に取込まれると、甲状腺に蓄積し、甲状腺がんなどを発症させる可能性があるため、安定ヨウ素剤を服用することでそれらを防ぐことができます。



【微量の放射能物質は日常に存在しています】



【「うわ！見えた！」放射線の跡を見る実験】



新入生説明会 ~中学校ってどんなところ?~



2月6日(金)、吉小から10名の児童が参加し、入学説明会を実施しました。吉中の1年生が「先輩」として、吉川中学校の校舎や学校生活、先生方の紹介をしました。3学期に入ってからアイデアを練り、どうしたら新入生に楽しく吉川中学校を紹介できるかをみんなで考えていました。6年生がとても楽しんでくれた様子が伝わりました。

来年度は、さらに1名の入学生が加わり、11名が新しく吉中の仲間入りをします！

3月の予定

日	年間行事	日	年間行事
1 日		17 火	
2 月	フッ化物洗口 職員会議	18 水	公立二次検査日
3 火		19 木	公立二次合格発表 3学期終業式
4 水	公立一般入試検査日	20 金	《祝》春分の日
5 木	卒業式予行、準備 3年生 給食後下校	21 土	
6 金	第47回卒業証書授与式	22 日	
7 土		23 月	
8 日		24 火	
9 月	公立一般追検査 フッ化物洗口	25 水	離任式(AM)
10 火	公立一般学校独自追検査	26 木	
11 水	全校集会 専門委員会	27 金	
12 木	公立合格発表	28 土	
13 金		29 日	
14 土	上越・関根 3月入試	30 月	
15 日		31 火	
16 月	上越・関根 3月入試 合格発表 フッ化物洗口		

昨年度末、生徒玄関で飼っていた金魚が残念ながら亡くなりました。教職員もとてもかわいがっていた金魚なので、とても寂しい年の暮れとなってしまいました。登校すると必ず水槽の金魚を見てから教室へ向かう生徒もいたことから、校長先生が新たに熱帯魚を迎え入れてくださいました。今年からは、印象的な体の色をもつ「ネオンテトラ」が吉中の生徒をお出迎えします！

